



▲兼房（代理店出展）



▲ロイコ



## 海外展示会

**5日間の会期を終え閉幕!**

イタリア全体でインダストリー4.0、IoTを大きく打ち出し、スマートファクトリー化を推

イタリア最大級の国際木工機械展「キシレクスポ2018（第26回国際木工・家具製造技術産業展）」が、5月8日（火）〜12日（土）の会期を終え閉幕した。1968年に初開催した同展は今年で50周年の節目を迎え、この記念すべきアニバーサリーを盛り上げるべく、今回はイタリアの国を挙げて世界中から商社・機械ユーザーを呼び込むプロジェクトが大々的に展開された。

総展示規模は3万4785平米、総出展社数は425社（伊メーカー1309社、海外は27カ国116社が出展）と

なった。ちなみに前回2万91892平米で4社伊319社、海外29社あった。日本からは、兼展しており、塗装機器の現地法人も出展した。

来場者数は、リピーター約3万7000名がカ純粋な登録者数としては（伊1万2749名、海だが、前回展より2・1加している。

今回のキシレクスポは